

考え、話し、 変わる日本へ。 だれひとり 取り残さない

立憲民主党 埼玉県第1区総支部長 **たけまさ 公一**



平和で真に豊かな日本へ 1人当たりの投資を5倍に

次期戦闘機輸出可能の閣議決定

3月27日、政府は次期戦闘機（日英伊3か国で開発）を第三国へ輸出できる閣議決定を行いました。専守防衛の憲法のもと、日本の安全保障政策の大きな転換といえます。

2014年安倍内閣で、武器輸出3原則を見直し防衛装備移転3原則を決め、それまでの武器禁輸政策を撤廃しました。2022年には岸田内閣が国家安全保障戦略で「防衛装備移転の推進」を明記しました。そして、今回、高い殺傷能力を持つ戦闘機の輸出に踏み切りました。

一昨年末の、国家安全保障戦略で2023年度からの5か年の防衛費を43兆円とし、前の5年間より16兆円上回る積算根拠も、依然説明がありません。

又、日米首脳会談で統合運用強化にも踏みこみました。国会での議論を深め、国民への説明が必要です。

自民党裏金問題(その4)

衆参両院の政治倫理審査会を行っても、自民党裏金問題の真相解明は進まず、野党一致して予算委員会への証人喚問を求めています。野党だけでは議席数が足りないの、公明党にも協力を呼び掛けています。与野党の垣根を超えて真相解明が必要だからです。

自民党裏金が作られていた期間は「失われた30年」とほぼ一致します。それは、①初任給も基本給も上がらないのに、②役員報酬は1.6倍で、結局、③経営者と株主のみが優先される経済でした。2019年から日本人は働きすぎと「働き方改革」を進めてきましたが、国民の望む「多様性ある働き方」は実現せず、GDP国内総生産では人口3分の2のドイツに抜かれ4位に落ちてしまいました。

特に、この20年間は、民主党政権を除けば、自民党政

権、それも、安倍派（森派、福田派）が首相を輩出していただけに、安倍派が首相を出すための、選挙費用をはじめとする裏金の使途を明らかにする必要があります。

さらに、ここ10年であれば①アベノミクス、②コロナ対策の100兆円について、検証が必要です。そして、これらに、自民党の裏金がどのような役割を果たしてきたか、その使途の解明が欠かせません。

アベノミクスと裏金

2013年から始まった異次元の金融緩和アベノミクスは、当初2年で終了するはずでしたが、結果10年続くことになりました。この間、日本銀行は、国債の購入額が50兆円から10倍の500兆円になりました。

3月に金融政策決定会合でマイナス金利見直しにかじを切りましたが、「金融緩和は継続」とあいまいな政策決定を行い、市場は、「日銀が金利を上げれば国債は含み損を抱えることになり、赤字になるから引き上げはできない」と足元を見透かしています。これも、10年続けた「アベノミクス（異次元の金融緩和）」の負の遺産です。

アベノミクスを続けられたのは、過去最長の政権期間があればこそできたのであり、そのためには選挙で勝ち続けることが必須であり、自民党の裏金が選挙資金として使われたのではないかとされるゆえんです。

コロナ対策100兆円と裏金

コロナ対策に3年間で100兆円近くのお金が使われました。その対策に、自民党の裏金が何らかの影響を与えていなかったかの検証も必要です。

例えば、ワクチンです。ファイザー製、モデルナ製が主要なワクチンとして皆様も接種されたと思います。一方、

アストラゼネカ社製のワクチンは、購入量の0.16%しか国内では接種されませんでした。そして、海外への提供に回され、それ以外はキャンセルしたものの購入費のどれだけが返済されたか、今もって不明です。

こうしたワクチン購入にあたり、自民党の裏金が何らかの影響を与えていなかったかの検証が必要です。

自民党の身内の処分で幕引きは早い

4月4日自民党は39人の裏金議員に対する処罰を決定しました。最も重いのは、離党勧告でした。しかし、確定申告で一人も納税した議員がいなかったことを岸田総理は明らかにしています。国民の皆さんに税務署が行う税務調査が、裏金議員にも必要です。そして、うそをつけば偽証罪が適用される予算委員会での証人喚問が必要です。

上記2点はほんの一例にすぎませんが、一体、**自民党の裏金が、30年にわたって一体何に使われてきたのか？**そして、**日本の政策決定にどんな影響を与えてきたのか**の解明が日本の立て直しには必要だからです。

国民一人当たりの投資を5倍に増やす

GDP国内総生産で日本が人口3分の2のドイツに抜かれ4位になった理由は、財政規律を守る一方、ドイツの国民一人当たりの投資額が日本の5倍あるからと言われていきます。**日本の立て直しのためには、財源を見出して、国民一人当たりの投資額を5倍に増やすことです。**

「多様性」への理解もなく、自分勝手に「国民」の事も考えず、政治に「透明性」も「信頼性」もなく、平気でうそをつき、言論を封殺してきた、時代に不適合の自民党政治を、次の国政選挙での国民の皆さんの投票行動によって、一日も早く終わらせようではありませんか。

昨年「子ども放置禁止条例」の教訓は、有権者の皆さんには「投票所に足を運ぶ」ことであり、選ばれる政党候補者には「魅力的な政策、正しい情報を提供する」ことでした。

「政権交代があたり前のまっとうな政治」を実現します。お力をお貸しください。

イベント案内

■女性の会2024 吉武まつ子withファミリー～情熱の歌とフラメンコ～夏のひと時コンサート & たけまさ公一後援会総会

■7月1日(月) 開場13時30分/開会14時～16時

■ロイヤルパインズホテル浦和 4階ロイヤルクラウン

■イベントの申し込み、問い合わせ先 立憲民主党埼玉県第1区総支部 たけまさ公一事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F
Tel.048-832-3810 Fax.048-832-3846 voice@takemasa-k.jp リンク先申し込みフォームもご利用いただけます。

■参加費 2,000円 コーヒー付き

■ゲスト 吉武まつ子(うた) 吉武大地(うた) 吉武萌(うた・フラメンコ) 熊井麗音(ピアノ)



立憲民主党埼玉県第1区メンバー (敬称略)

武田和浩
見沼区県議



野本怜子
浦和区県議



添野ふみ子
浦和区市議



三神尊志
見沼区市議



佐々木郷美
見沼区市議



堤日出喜
緑区市議



たけまさ(武正)公一 埼玉県第1区総支部長

1961年生まれ。うし年。B型。浦和区大東3丁目在住。妻と一女一男。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。

1995年埼玉県議初当選。2000年衆議院議員初当選、以後6期務め外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。2017年に議席を失うが、チャレンジを。



立憲民主党埼玉県第1区総支部 たけまさ公一事務所

〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F
TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846 voice@takemasa-k.jp

たけまさの政策や実績、最新のイベント案内、たけまさ日記など、様々な情報を発信中！**たけまさ**で検索！

takemasa-k.jp
たけまさ公一公式サイト

